

「食の安全と健康な生活の構築」に関するリサーチコア

九州大学健康科学センター
上園 慶子

1. 研究紹介

1) 高血圧学

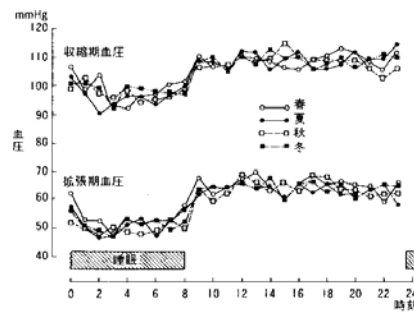
「血圧の日内変動」

健康な毎日を送る日本人正常血圧者の血圧日内変動を性別年齢群別に設定（班長：川崎晃一 九大名誉教授）に従事。全群、覚醒中の血圧・脈拍は就床中より有意に高く、2相性を示す。同年代では男性は女性より高値であり、男女とも加齢と共に血圧が上昇する。但し、若年男性では身体活動量が多く、加齢の影響は女性の方が明らかであった。

2) 時間生物学

「日米の健康な女性における生理的諸変数の日内変動とその季節差に関する研究」

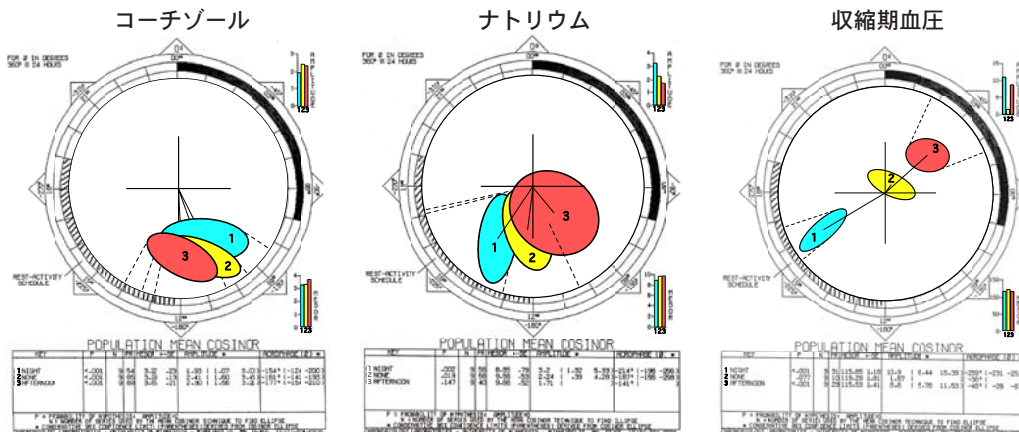
若年・壮年・中高年の3群に女性を対象に四季それぞれに血圧などの日内変動を研究。若年では冬季に脈拍の上昇（交感神経の緊張）が認められた。



健康若年女性 10 名（21～27 歳）の春夏秋冬の血圧日内変動

「種々の生活パターンにおける血圧・体温など生体諸変数の日内変動に関する研究」

徹夜や昼夜逆転により各種変数の日内変動は偏位するが、変数により偏位の速度が異なり非同調化する。



3) 健康管理学

「大学生の健康白書作成に関する研究」

全国の国立大学生の健康診断・各種調査の結果を集計し出版。
朝食欠食率の減少が課題。

